

【講義日程】

	Web通信講座		Web通信講座 DVD通信講座
	配信開始日	配信終了日	教材・講義録・DVD発送日★
憲法	2015年 10/ 8(木)	2016年 5月31日(火)	2015年 11/ 12(木)
民法	10/ 22(木)		
刑法	11/ 5(木)		
商法	11/ 12(木)		
民事訴訟法	11/ 19(木)		
刑事訴訟法	11/ 26(木)		
行政法	12/ 3(木)		
一般教養 サンプル	12/ 10(木)	2016年 1/ 22(金)	
一般教養 H23	12/ 17(木)		
一般教養 H24	12/ 24(木)		
一般教養 H25	2016年 1/ 7(木)		
一般教養 H26	1/ 7(木)		
一般教養 H27	1/ 14(木)		

【受講料・コースNo.】

	Web通信講座				DVD通信講座			
	コースNo.	クラスNo.	通常受講料	4A基礎講座生割引受講料	コースNo.	クラスNo.	通常受講料	4A基礎講座生割引受講料
短答過去問解法分析講義 パック(全13回)	163-091	W4	¥49,800	¥39,840	163-092	96	¥61,900	¥49,520
3科目パック(全3回)★ 憲法・民法・刑法	163-093		¥12,000	—	163-096		¥15,000	—
4科目パック(全4回)★ 商法・民訴法・刑訴法・行政法	163-094		¥16,000	—	163-097		¥20,000	—
一般教養パック(全6回)★	163-095		¥24,000	—	163-098		¥30,000	—

全学習
メディアに 音声DLフォロー標準装備

4A基礎講座生割引
20%OFF

「(1.5年)4A基礎講座パック」
「(1.5年)4A基礎講座」をお申込みの方は、
「短答過去問解法分析講義パック」を
20%OFFでお申込みいただけます。
※目標年度・学習メディアは問いません。※他の割引との併用はできません。
※4A基礎講座(パック) Wideの方も割引の対象となります。

※諸般の事情により日程を一部変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。
※講義時間は1回約3時間です。
※Web通信講座/DVD通信講座は、全て渋谷校にて収録した講義を配信・発送いたします。なお、収録講師は全て中村充講師です。
※Web通信講座で使用する教材(レジュメ)は、配信開始日よりWeb上にて講義動画と共に提供いたします。なお、このWeb上にUpした教材(レジュメ)は、後日紙本として「教材発送日」より送付いたします。
★Web通信講座の方は、講義録・教材のみお送りいたします。

※0から始まる会員番号をお持ちでない方は、受講料のほかに別途入会金(¥10,000・8%税込)が必要です。ただし、★印の商品は入会金¥10,000(8%税込)は不要です。会員番号につきましては、TAC各校またはカスタマーセンター(0120-509-117)までお問い合わせください。

※左記受講料は、教材費・消費税8%が含まれます。
※Web通信講座の場合、お申込み前に必ずTAC WEB SCHOOLの動作環境ページをご確認ください。実際に受講される端末からTAC WEB SCHOOLにアクセスしていただき、[TAC WEB SCHOOL 動作環境のご案内] ボタンから、動作環境チェックページへお進みください。
※DVD通信講座の場合、視聴にはDVD-R対応プレイヤーが必要となります。パソコンやゲーム機などでの再生は動作保障対象外となりますのでご注意ください。
※自習室のご利用は、「短答過去問解法分析講義パック」をお申込みの方のみとさせていただきます。
※当講義では、指定教材として「2016年版 体系別短答式過去問集」<別売 早稲田経営出版>を使用します。お持ちでない方はご購入の上受講ください。

申込方法

お手続きは簡単です!

詳細については、TAC各校までお問い合わせください。

下記の注意事項を必ずお読みの上、お申込みください。

※0から始まる会員番号をお持ちでない方は、入会金(¥10,000・8%税込)が別途必要です(入会金不要講座・免除講座を除く)。会員番号につきましては、TAC各校までお問い合わせください。

TAC受付窓口でお申込みの場合

講座申込書にご記入のうえ、受講料を添えて受付窓口へお持ちください。お支払方法は以下のとおりです。

- ①現金でのお支払い
- ②クレジットカードでのお支払い
※下記の表示のあるクレジットカードがご利用いただけます。

VISA MasterCard JCB

※翌月一括かボーナス一括(利用できない期間があります)をご選択いただけます。
※現金と併用してお支払いいただくこともできます。
※TAC教育ローンの頭金へのご利用はできません。

- ③デビットカードでのお支払い
※お客様ごとに設定されている支払限度額について、ご利用いただけない一部カードについて、利用可能時間・曜日については、予め取引先金融機関にお問い合わせください。
※TAC教育ローンの頭金へのご利用はできません。
- ④TAC教育ローン(分割払い)でのお支払い
(30,000円以上のお申込み)
※TAC教育ローンをご利用の際は、別途案内書をご参照ください。

会員証の発行 TAC受付窓口で手渡し

学習スタート

インターネットでお申込みの場合

e受付 TAC ECサイト
http://ec.tac-school.co.jp/

申込可能な商品は限られますのでTAC e受付サイトにてご確認ください。

※支払は、クレジットカード・ジャパンネット銀行リンク決済・コンビニ支払(セブンイレブン・ローソン・ファミリーマート・セイコーマート)・銀行振込となります。
※コンビニ決済は30万円までのお取扱いとなります。
※銀行振込・コンビニ支払でのご利用は申込締切日の8日前までとなります。

会員証の発行 ご自宅へ郵送(通学講座は窓口渡し)

学習スタート

郵送でお申込みの場合

銀行振込 郵便振替

銀行振込
(口座名) TAC株
(振込先) みずほ銀行/神田支店
普通預金 2142263
※振込は、ATMをご利用ください。
早くて手数料がお得です。

郵便振替
(口座番号) 00140-4-74476
(名称) TAC株式会社
※郵便局備えつけの「払込取扱票」をご利用いただくか、ATMをご利用ください。

①申込書 ②受講料の振込控え(コピーでも可・インターネットバンキングでのお振込みの場合には振込終了画面等のTACへの送金を確認できる画面をプリントアウトして添付ください。お客様の口座番号・口座残高は黒塗り等いただいても結構です。) 2点を同封しTAC申込手続係へ送付

TAC申込手続係 〒101-8383 東京都千代田区三崎町3-2-18

★お振込控えがない場合、ご本人様の確認ができないため、お申込み手続き、教材の発送等が遅れます。
※振込手数料はお客様ご負担となります。
※TACは原則として前払いとなります(一部代引き除く)

会員証の発行 ご自宅へ郵送

学習スタート

大学生協等代理店で申込みの場合

生協等の専用申込書に記入し、割引受講料をお支払いください。
※生協等で「申込者控」を必ず受取ってください。

↓

TAC受付で申込書に記入し、「申込者控」(生協等で受取)とともに提出
通信の方は店舗から受取った返信用封筒に「申込者控」「TAC郵送専用申込書」を入れてお送りください。
※取扱店舗により申込方法が異なる場合がございます。また、一部お申込みできない講座・コースもございます。

会員証の発行 TAC受付窓口で手渡し(通信講座はご自宅へ郵送)

学習スタート

注意事項

- 当案内書の有効期限は、2016年5月までになります(コースにより申込期限が異なりますので、ご確認の上お申込みください)。
- 未成年者(20歳未満)が受講申込み(受講料5万円以上)をする場合には、別途親権者の自筆による「同意書」の提出が必要です。
- TAC提携校では、一部お取扱いできない場合もございますので、予めご了承ください。

●司法試験講座のパンフレットのご請求・お問い合わせはこちらから

0120-509-117

受付時間
月～金 9:30～19:00
土・日・祝 9:30～18:00

●Wセミナーホームページからのご請求

http://www.w-seminar.co.jp/

Wセミナー 司法試験

検索



Wセミナー 司法試験

2016年合格目標

短答過去問 解法分析講義

正答率 大幅UP!

知識だけでは対応できない短答問題の

短答過去問を徹底分析! 解法テクニックを伝授します!

4A基礎講座生割引
通常受講料から20%割引! 詳細は裏面

講義詳細を
TAC動画チャンネルで
無料配信! TAC動画チャンネル 検索

資格の学校
TAC WASEDA セミナー

東証1部上場(証券コード4319)株主優待制度あり http://www.tac-school.co.jp/

2015.10 2016.05 205-0902-1006-10

担当講師
TAC/Wセミナー専任講師・弁護士
中村充 講師

過去問至上主義の中村充講師が贈る

司法試験
予備試験

短答式試験対策講座

POINT

1

さらなる進化を遂げた
解法テクニック・
プロセスを実演！

いかに知識過多の受験生でも“未知の問題”が全体の半分は出題される短答式試験で、知識がなくても正解するための10個の解法テクニックを使って解くプロセスを、中村講師が等身大の受験生の視点に立って実演します！

POINT

2

解法テクニックの
徹底分析
データ公開！

(新) 司・予備全短答過去問につき、どの解法テクニックを使って、どこまで解ける問題なのか等を徹底分析したデータを示します。短答過去問をくり返し解く際に活用してください！

POINT

3

「一般教養科目」は
全過去問の
解法を解説！

予備試験の短答式試験の一般教養科目については、使用許諾をいただくことが非常に難しい英語と現代文の問題を除き、知識がない場合の解法を、サンプル問題からH27まで全過去問につき解説します。これだけでも予備短答の一般教養科目対策は充分すぎる！

TAC/W セミナー専任講師・弁護士

中村 充 講師

プロフィール

開成中学校卒▶東京大学法学部卒
▶現在弁護士。

徹底した試験至上主義から辿り着いた絶対的過去問主義に基づき、中学・大学受験、司法試験を突破してきた。その中で培われた受験テクニック・過去問分析手法は他の追随を許さない。司法試験においても、予備試験・法科大学院入試から新旧司法試験に至る全過去問が、頭の中にもデータベース化されている。このデータベースに基づいて、あらゆる法的問題に通用する普遍的な方法論「4A（4段階アルゴリズム）」を完成させた。

中村講師からのメッセージ

短答過去問解法分析講義とは？

私が受験生時代から経験的に開発してきた短答本試験問題の解法テクニックは、ご好評をいただいた『短答過去問解法テクニック講義』でも軽く紹介しましたが、その後、(新) 司・予備短答全過去問を徹底的に分析し、その解法テクニックがどこまで通用するのか等の客観的データを蓄積したところ、驚くべき傾向が見えてきました。本講義では、その傾向に基づいてさらなる進化を遂げた解法テクニックを紹介するとともに、(新) 司・予備短答全過去問の徹底分析データも全て公開します！
これまで世に出た過去問分析が、いかに名ばかりの甘いものだったか…
司法試験業界よ、これが「過去問分析」だ!!

◆こんな方にオススメ！

司法試験や予備試験の
短答式試験で 点数が伸びない方

司法試験や予備試験の
短答式試験で 最も効率的に合格したい方

予備試験の短答式試験の
一般教養科目対策に 時間をかけたくない方

◆カリキュラム

※講義時間は3時間/1コマとなります。

科目	回数	使用教材
法律科目 (憲法・民法・刑法・商法・ 民事訴訟法・刑事訴訟法・行政法)	7回 (各1回)	●2016年版 体系別短答式過去問集 《別売 早稲田経営出版》 ●講師作成 オリジナルレジュメ
一般教養科目	6回	●講師作成 オリジナルレジュメ

別売教材は、以下のサイトからご購入いただけます。

早稲田経営出版 検索 <http://www.waseda-mp.com>

- 合格者の声
- 本講座のテクニックは本試験会場で絶大な威力を発揮します。その証拠に私の予備短答式試験の点数はH26年の151点から217点まで上がりました。最後の2択まで絞れるのに点数に結びつかない、そんな方にオススメです。
 - 手薄になりがちな商法で大いに役立ちました！下手に迷うことが少なくなったのは大きいと思います。
 - 本番で自信を持って解答できない問題も、この解法テクニックを使うことで最後まで勘に頼らず得点につながる行動をとり続けることができました。最後まで分からなかった問題についても、試験終了直前に解法テクニックを使って解いたところ、見事正解することができました。勘に頼らなくてよかったです。
 - 実にすばらしかった。多くの発見があり、その発見を活かすことで、数日間の努力で、一般教養の成績が二割アップしました。
 - 一般教養の対策は範囲が膨大で何から手をつけて良いかわからなかったのですが、この講座は大変役に立ちました！今度は、全過去問に範囲を広げて実施して欲しいです。



グルーピング

問題 予備試験H23 [民法・商法・民事訴訟法] 第25問

株式会社を各当事会社とする合併に関する次のアからオまでの各記述のうち、正しいものを組み合わせたものは、後記1から5までのうちどれか。(解答欄は、[No.27])

- ア. 吸収合併の場合、いわゆる合併差損が生ずる合併は、することができない。
イ. 吸収合併の場合、存続会社は、消滅会社の株主に対し、合併対価を何ら交付しないこととすることができる。
ウ. 吸収合併の場合、消滅会社の解散は、吸収合併の登記の前でも、悪意の第三者に対抗することができる。
エ. 新設合併の場合、新設合併契約を承認した消滅会社の株主総会の決議に瑕疵があることを理由として新設合併の無効の訴えを提起するときは、設立会社を被告としなければならない。
オ. 新設合併の場合、設立会社を株式会社としなければならない。

1. ~~ア~~ 同 2. ~~ア~~ ウ 3. イ エ 4. ウ オ 5. ~~エ~~ ~~オ~~ 同

iv 消去作業2
2択(イウエオのどれかの正誤判断)

ii グルーピング

多数決→争点整理

問題 司法試験H27刑法10問(予備試験H27 [刑法・刑事訴訟法] 第8問)

(問題本文、略)

1. ~~1~~ ① a ② c ③ e ④ h ⑤ j ⑥ k ⑦ n ⑧ p ⑨ q
2. ① b ② c ③ e ④ h ⑤ j ⑥ l ⑦ m ⑧ p ⑨ q
~~3~~ ① a ② d ③ f ④ g ⑤ i ⑥ l ⑦ n ⑧ p ⑨ q
~~4~~ ① b ~~② d~~ ③ f ④ g ⑤ i ⑥ l ⑦ m ⑧ o ⑨ r
⑤ ① b ② c ③ e ④ h ⑤ j ⑥ l ⑦ m ⑧ 〇 ⑨ ㊦

i 多数決
「多数派」を残し、「少数派」を消去

ii 争点整理

解法

i 多数決

- ① 多数派 b が正しい傾向
→ 少数派 a を含む選択肢1と3を消去する。
② 残る選択肢2・4・5での多数派 c が正しい傾向
→ 少数派 d を含む選択肢4を消去する。

ii 争点整理

- 残る選択肢2と5は③e④h⑤j⑥l⑦mで争いなし。
→ 「争点」⑧p対⑩と⑨q対㊦を検討。
→ ②c、⑥lを前提とすると、【記述】の日本語的に⑩o、⑨rが正しい。

iii 正解は5となる。